

## なぜ課題解決型職場体験を実施するのか？

## 課題解決型職場体験の従来と違うポイント

理由

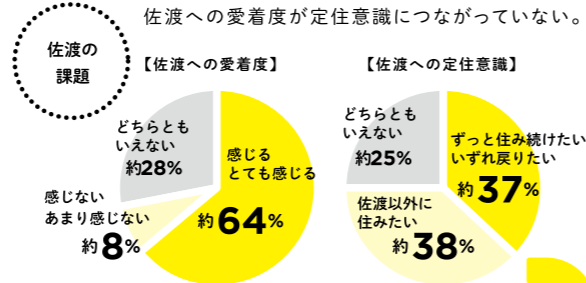
### 1 子どもたちの活用力や思考力を育てるため

- 佐渡の子どもたちの課題
- 習得より活用が苦手
  - 思考力や表現力がなかなか伸びない
  - 宿題はやるが、自身の課題をとらえて学習を進める姿勢が弱い

活用する力や思考力を育成するには、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」が必要

理由

### 2 佐渡市への定住意識を伸ばすため



「社会を形成するのは自分たち」という当事者意識や起業家精神が乏しいため、佐渡においてイキイキと活躍する大人、課題解決をしている大人との出会いやつながりが必要

社会が大きく変化している今、全国的にも左記のような力を身に付けるべく、学習指導要領やカリキュラムが変わろうとしている。今後は、正解が一つでない課題を探究し、納得解・最適解を見付ける経験を重ねることによってその力を伸ばせたい。

「探究」を経験させるのは教師にとって容易なことではない。そこで、**実社会に存在するリアルな課題を解決する探究活動を地域や企業と協働でつくる**ことが必要

Point

1

### 仕事と佐渡とのつながりを実感できる

従来の職場体験では、勤労観・職業観を知ることが主な目的でしたが、課題解決型職場体験では、3つの段階の「価値観」を生徒の中で実感させます。佐渡で働く大人がどのような思いや情熱をもって働いているのか、そして、仕事を通して、佐渡の課題解決や地域活性に貢献しているかを生徒に肌で感じてもらい、仕事を通して、佐渡を見直す機会とします。

地域観  
社会観

- 地域社会はどのように成り立っているか
- この地域や社会が直面している課題はなにか

人生観

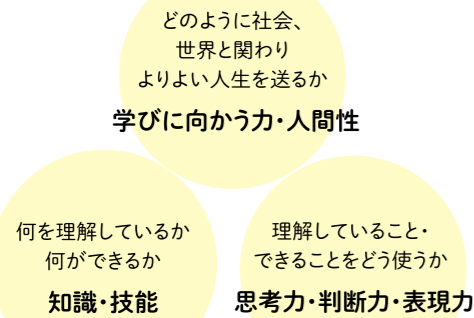
- 人はどんな価値観で生きているのか
- 生きがい、やりがいとはなにか

勤労観  
職業観

- どんな仕事があるのか
- 働くとはどういうことか

理由

### 3 探究的な活動を通して、社会で求められる力を育成するため



課題解決型職場体験で目指すこと

課題解決型で探究的な学習の充実を図ることで生徒の社会参画への意欲や当事者意識を高めるとともに、関わった大人からのフィードバックをもらうことで自己のキャリア形成と関連付けながら学習に対する意欲を高める。

今後佐渡において、地域と学校の協働で目指すこと

学校と地域が子どもの育ちのために「こうしよう」「ああしよう」と腹を割って言い合える関係づくり

- ▶▶地域でどのような子どもを育てていくのか、どのような地域をつくっていくのかというビジョンの共有
- ▶▶地域と学校の協働の取組を積み重ね、大人も子どもも学び続ける地域の形成
- ▶▶主体的、当事者意識をもった担い手の育成とあらゆる世代が一体となった地域活性化の実現

Point

2

### 課題解決のために全体を知る

仕事の一部ではなく、全体を伝えます。仕事を知るための作業ではなく、課題を発見し、解決するために必要な体験や調査をします。

目標に応じて、実際の仕事を観察する「シャドウイング」や実態を把握するための「ヒアリング」なども必要に応じて取り入れていきます。

Point

3

### 仕事の醍醐味を実感する

仕事の大変さだけでなく、面白さ、醍醐味を感じるように工夫します。

「いつかこの仕事に就きたい」と思うような憧れの気持ちや「仕事って大変だけど、それを乗り越えると面白いんだ」という実感をもって、将来に希望を抱いて職場体験を終えるようにします。

	従来の職場体験	課題解決型職場体験
学びの内容	仕事の一部	仕事の全体（プロセス）
	仕事を知るための作業・体験	課題を発見し解決するための実体験
学びの姿勢	仕事の大変さ	仕事の面白さ・醍醐味
	受身的	主体的